

つなぐ



諫早市立大草小学校
特別支援教育
コーディネーターだより
H31.1.25 No.33
文責 林田

😊 同じ学習の場でも目標が違えば… 😊

24日(木), 1~5年生による「子ども会議」が開かれました。多くの学校では「代表委員会」という名称で行われている子どもたちの代表による話し合い。大草小は, 児童数が少ないため, 普段は2年生以上の児童全員が参加して行います。

今回は, 議題が「6年生を送る会」だったため, 1~5年生27名で話し合いを行いました。司会は運営委員会が務めました。

1年生にとっては, 初めての経験です。どんな様子で参加するかなと思って見ていると, 次々に手を挙げて自分の考えを発表していました。理由まではっきり話すことができる子もいて, 初めてとは思えないほどでした。

一方, 5年生は「さすが高学年」。下級生にもわかりやすい話し方や態度で意見を述べていました。

「子ども会議」という同じステージ(学びの場)の上で, 1~5年生という異学年が同じ議題について話し合うことは, 傍から見ると大変そうに感じられます。

しかし, その学年の発達段階に応じた目標を設定することで, 同学年の中での学習にはない効果が現れます。



1年生も意見を発表

例えば, 1年生であるなら『〇〇がいいです。』と話そう, 5年生ならば, 「低学年にもわかりやすい話し方で, 理由を伝えよう」という具合です。「異学年の中でも意見が言えた」という経験は, 大きな自信につながります。

また, 下級生にとっては, 上級生の話し方や聞き方を見て学ぶ良い機会にもなります。声の大きさ, 話すときの体の向き, 表情, 言葉の選び方, 聞き方…など, 「百聞は一見に如かず」と言えるでしょう。

今回の話し合いでは, 1・2年生のほとんどが手を挙げ, 自分の考えを発言することができました。経験の積み重ねで, 話し合いの仕方が上手になっていきます。子ども会議での話し合いの仕方が, 学級での話し合いに生かせるかもしれません。

「小規模校の良さ」を生かせる場を模索しながら, 子どもたちへの指導法を工夫する毎日です。



5年生は高学年らしく…

😊 笑顔で過ごせていますか? 😊

全国的にインフルエンザが猛威をふるい, 子どもたちの健康管理に日々心を砕かれていることと思います。保護者の皆さんやご家族の皆さんの体調はいかがですか?

また, 3学期に入ってからのお子さんの様子はいかがですか? 落ち着いて過ごせていますか?

ご家族, 特にお母さんが疲れていると, 家庭の中が暗くなるかも…。お母さんはそれぞれのご家庭での「SUN ☀️」であって欲しいと願ってやみません。

ご来校の際は, ちよっとおしゃべり…でもして, 気分転換, いかがですか?
お待ちしております。😊

疲れたな! という時は



上手にストレス解消して



家族が笑顔で過ごせるように…